

津軽の響き

津軽三味線

浅野 祥



《演奏予定曲》

- ・津軽よんから節
- ・津軽あいや節
- ・津軽よされ節
- ・リベルタンゴ 他

〈プロフィール〉

浅野 祥

宮城県仙台市出身 | 1990年3月2日生まれ。仙台第一高等学校、慶應義塾大学卒業、祖父の影響により、3歳で和太鼓、5歳で津軽三味線を始める。その後、三絃小田島流二代目小田島徳旺氏に師事。7歳の時、青森県弘前市で開催される津軽三味線全国大会に最年少出場し、翌年から各級の最年少優勝記録を次々と塗り替える。2004年 津軽三味線全国大会、最高峰のA級で最年少優勝(当時14歳)その後、2006年まで連続優勝し、三連覇を達成・同大会の規定により、殿堂入りを果たす。

2024年 12/7 (土) 14:00開演(13:30開場)

宇部市多世代ふれあいセンター2F ふれあいホール

★入場料・・・【全席指定】一般 4,000円/高校生以下 2,000円(当日いずれも500円高)

★会員になると年6回のコンサートに会費のみで参加できます

(会員の月会費は一般1,500円、高校生以下500円)

★チケット取扱 宇部音鑑(宇部市神原町1-2-3 ☎0836-34-2384)

宇部市文化創造財団(宇部市松島町17番3号 ハイウッドビル3F ☎0836-35-3355)

★チケット発売: 会員……10/5(土)より、一般……10/12(土)より

★主催: 宇部音鑑 ★後援: 宇部市・宇部市文化創造財団・宇部日報社・エフエムきらら

〈次回公演案内〉

韓国民族芸術団「クンドゥル」



2025年3月12日(木)

18時30分開演(18時開場)

宇部市多世代ふれあいセンター

演目(予定)

第1部 プンムルノリ、民謡、パンソリなど

第2部 マダン劇烏鶺橋(おじゃっきょ)アリラン

韓国民族芸術団「クンドゥル」

1984年、晋州慶尚大学の伝統民俗研究会の会員が集まって、韓国の民族伝統文化芸術をよみがえらせようと結成しました。思いやりと感動、人情を基盤にした団員の親睦と団結を源泉にして文化芸術活動を行っています。「演技者や歌手である前に人間であれ！」がモットーです。

歴史、統一、環境、労働などさまざまなテーマで、広い世代の方々に観てもらえるマダン劇を創作し、年間約120回のマダン劇公演を行っています。脚本、演出、衣装、道具、音楽など全て自分たちで創り上げています。

また、学校や、労働者、地域住民の人々にサムルノリ、プンムルノリを指導援助しています。晋州(チンジュ)市と昌原(チャンウォン)市で毎年行う、定期公演での市民130人が参加するプンムルノリ演奏は大きな感動を呼んでいます。

村や地域の祭りにも積極的に参加し、そこに新しいサークルを根付かせる活動も行っています。

マダン劇「烏鶺橋(おじゃっきょ)アリラン」について

70年もの間、敵のように過ごしてきた「川上の村」と「川下の村」にあってはならぬ事件が起きました。「川上の村」の娘コップンと「川下の村」の青年ナムドルが恋に落ちたのです。一年に一度めぐりあう織姫と牽牛より、もっと困難で悲しい恋に落ちたコップンとナムドル。

二人は両親の許可なく婚礼をあげることを決心し、両方の家の中は大騒ぎになりますが…。

“この結婚には反対だ〜”と言いながら登場する両家の両親。プライドがかかった両家の両親たちの知能戦、あげくの果てに両方の村の中の知能・芸能戦にまで発展しますが…。「川上の村」のコップンと「川下の村」のナムドルとは両親の反対に打ち勝ち、結婚にゴールインすることができるのでしょうか。

マダンとは広場の他に庭という意味もあります。マダン劇は“舞台”という限られた空間で俳優と観客がある種の隔てられた状況下での演劇ではなく、家の庭のような生活の延長線上にあるかのような空間に俳優と観客が共に存在し、観客が演劇に参加する＝観客が主人公の演劇であると言えます。

日本公演では60%以上が日本語で演じられます。

あなたも宇部音鑑の会員になりませんか！

♪音鑑では…

例会は年6回、ジャンルにかかわらず、みんなで楽しめる内容のものを会員の意見に基づいて決めています。例会終了後の食事交流会では、出演者と身近に触れ合うことができます。レクリエーションなど、会員の親睦行事も行っています。

♪会員になると

毎月の会費だけで年6回の音楽会(例会)に参加でき、指定席を優先的に取ることができます。

♪入会するには

どなたでも入会できます。「入会申込書」に記入の上、入会金と6カ月の会費を添えて音鑑事務所までお申し込みください。

◆会員は6カ月以上継続することが原則です

	入会金	月会費
一般	1,500円	1,500円
高校生以下	1,000円	500円